

福島「課題整理し次へ」

世界陸上から帰国

【千歳】8月30日に閉幕した陸上の世界選手権(中国・北京)の女子1000メートル決勝に進んだ福島千里(北海道ハイテクAC―帯南商高出)が9月1日に帰道し、新千歳空港で取材に応じた。

福島は同2000メートル予選では直線で伸びず23秒30で5組5着、同1000メートル決勝では11秒32で2組7着に終わった。



世界陸上から帰道、「次に向かいたい」と語る福島千里

「おかえりなさい」と報道陣に声を掛けられると「こんなに囲み取材が待った。」とやや驚いた表情を見せた。

同1000メートル予選では今季自己ベストで走り、自身が持つ日本記録に0秒02差に迫る11秒23(向かい風0・5メートル)と好調だったが「自己ベスト更新は普通のこと。そのために世界に行っているわけではない」と、決勝に進めなかった悔しさを隠さなかった。

今後の国内外の大会出場や練習予定などについては「これからゆっくり考えた」とした。地元・十勝などで応援してくれた人々に向けては「たくさん応援してくれて感謝している。課題を整理して次に向かいたい」と話した。

(浅利圭一郎)